

KENWOOD

HDD/DVD/MDシアターナビゲーションシステム

HDV-910

HDD/DVDシアターナビゲーションシステム

HDV-810

取付説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取付説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、国外で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

安全上のご注意	3
取付用部品一覧	6
■ナビゲーションシステム取付用部品	6
■TVアンテナ取付用部品	7
取付作業の進め方	8
■取付作業の留意点	8
■取付手順の流れ	8
■取付作業が終わったら	9
GPSアンテナの取り付け	10
■GPSアンテナの取り付け位置について	10
■トランクリッド（車外）に取り付ける場合	10
■ルーフ（車外）に取り付ける場合	11
■車内に取り付ける場合	11
TVアンテナの取り付け	12
■取り付け上のご注意	12
■接続のしかた	13
■取り付け例	14
■取り付け方法	15
周辺機器の接続	19
■周辺機器との接続	19
■AV入出力の接続	20
■車両情報ケーブルの接続	22
電源ハーネスの接続	24
ナビゲーションシステム本体の取り付け	26

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意



記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告

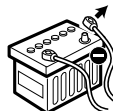


大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量以上あることを確認してください。また、本機の他に他のAV 機器などを接続する場合は、車両側電源のヒューズ容量は、それらの総ヒューズ容量以上必要です。

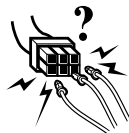
車両側電源のヒューズ容量が不足する場合は、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



注意

カーペットを切ったり車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉したり接触したりすることがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



実施

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



実施

万一〈異物が入った・水がかかった・煙りが出る・変な匂いがするなど〉異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず〈お買い上げの販売店〉にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。



実施

修理は必ず〈お買い上げの販売店〉、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。

注意



実施

本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。



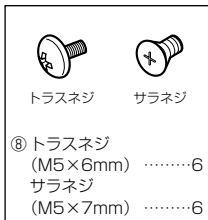
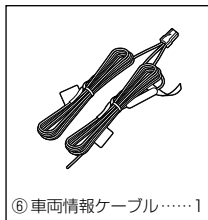
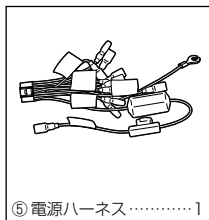
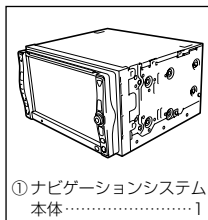
禁止

本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

取付用部品一覧

取付作業を始める前に以下の部品が揃っていることを確認してください。

ナビゲーションシステム取付用部品



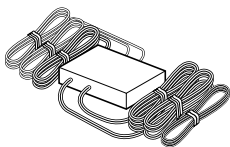
TVアンテナ取付用部品



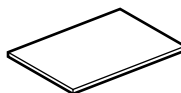
⑩ プリントアンテナ (左側用) 1



⑪ プリントアンテナ (右側用) 1



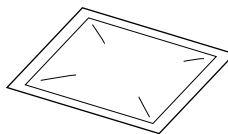
⑫ TVアンテナ用アンプユニット 1
(アンテナ入力3m、アンテナ出力2m)



⑬ 両面テープ 1



⑭ コードクランパー 6



⑮ クリーナー 1



⑯ 銅箔シート 2

取付作業の進め方

取付作業の留意点

- 各ユニットともつぎのような場所には取り付けないでください。
 - 直射日光やエアコンの送風が当たる場所、水のかかる場所、高温になる場所
 - しっかりと固定できない場所
 - グローブボックスの開閉の妨げとなる場所
- ナビゲーションシステムはしっかりと取り付けてください。
- 本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。取付け前に動作確認などを行う際は注意してください。
- 取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。

取付手順の流れ

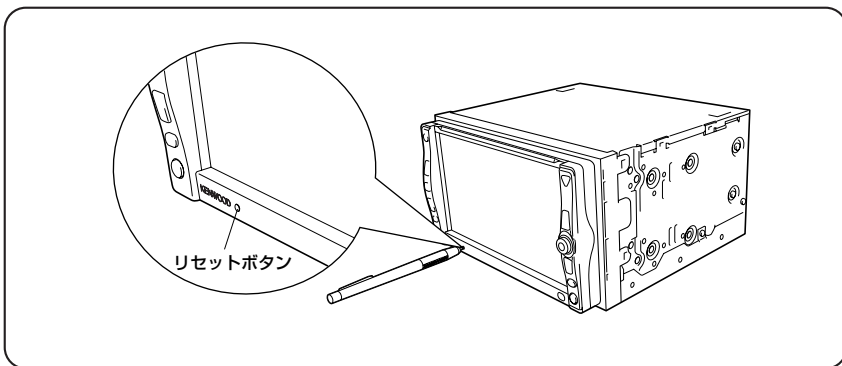
1. 本機を安全に取り付けるために「安全上のご注意」をお読みください。
2. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーのマイナス端子を外します。
3. GPSアンテナとTVアンテナを取り付けます。
4. 周辺機器を接続します。
5. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
6. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
7. 車両情報コードを接続します。
8. 電源ハーネスのコネクターを本体に接続します。
9. ナビゲーションシステム本体を車両に取り付けます。
10. バッテリーのマイナス端子を接続します。
11. 本機のリセットボタンを押します。

取付作業が終わったら

接続、取り付けが完了したら以下の作業を行ってください。

■ナビゲーションシステム本体のリセット

1. 配線に間違いがないか確認します。
2. ペンの先などを使用して、ナビゲーションシステム本体のリセットボタンを押します。



3. 車両のエンジンをかけます。

■車速パルスの学習

1. GPS情報が受信されている（画面にGPSマークが表示されます）ことを確認します。
2. メニューの接続確認機能でパルス情報がカウントされていることを確認します。
3. 時速40km/h以上で、10km走行します。

■ Memo

- ・障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。
- ・ナビゲーションの自車マークの位置は、車速パルスの学習が完了するまで、実際と大きく異なる場合があります。
- ・GPS情報を受信していない状態で走行を始めると、正しい位置に表示されるまでに長時間かかる場合があります。
- ・プログラムの読み込みから自車マークが表示されるまでの間にナビゲーションシステム本体の位置が移動すると、自車マークが正しく表示されないことがあります。このような場合は、電源を入れ直してください。
- ・GPS測位が2Dのときは車速パルスは学習されません。
- ・取り付ける車種によっては車速パルスの設定が必要です。取扱説明書を参照のうえ、メニューの車速パルス設定機能で設定してください。

GPSアンテナの取り付け

GPSアンテナの取り付け位置について

- GPSアンテナは、車内と車外のどちらにも設置できますが、どちらの場合もGPS衛星の電波を受信しやすいようにできるだけ水平に取り付けてください。
- 車内への取り付けではGPS衛星の受信状態が車外に比べて悪くなります。車種によってはGPS衛星の電波を受信できないこともありますので、車外への設置をお勧めします。
- GPSアンテナおよびGPSアンテナのコードは、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から30cm以上離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPSアンテナをナビゲーションシステム本体に近づけると、GPS衛星からの電波を受信しづらくなることがあります。GPSアンテナとナビゲーションシステム本体とはできるだけ離して取り付けてください。
- GPS衛星からの電波の受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して受信状態の良い場所に設置しなおしてください。
- 受信状態の確認方法については取扱説明書をご覧ください。



GPSアンテナ裏面のテープは取り外さないでください。テープがはがれると、防水効果が低下しGPSアンテナの故障原因になります。

トランクリッド（車外）に取り付ける場合

GPSアンテナには磁石が内蔵されています。トランクリッドに磁力で吸着させます。

1. ③GPSアンテナ用防水パッドをトランクルームの防水ゴムと当たる場所に貼り付けます。
2. ②GPSアンテナのコードをトランクリッドからトランクルームに引き込みます。

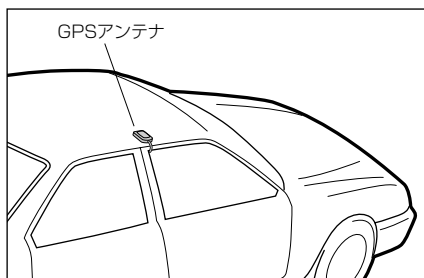
Memo

- ・③GPSアンテナ用防水パッドを取り付ける面は、油などの汚れをよく拭き取ってください。
- ・防水およびGPSアンテナコード断線防止のため、③GPSアンテナ用防水パッドを使用して取り付けてください。



ルーフ（車外）に取り付ける場合

ドアの防水ゴムにGPSアンテナコードを通して車内に引き込みます。



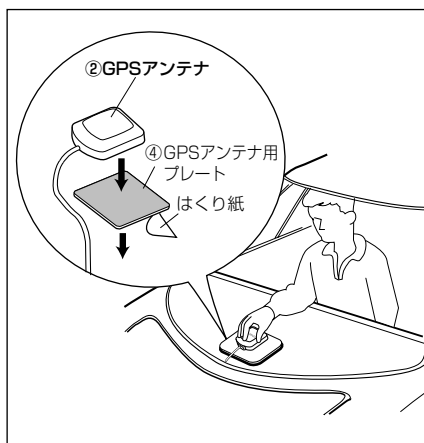
車内に取り付ける場合

GPS衛星の電波を受信しやすいようにリアトレイ中央のガラス面に近いところに取り付けます。

1. ④GPSアンテナ用プレートのはくり紙をはがして設置場所に貼り付けます。
2. ②GPSアンテナを④GPSアンテナ用プレートの上に置きます。

■ Memo

- ・④GPSアンテナ用プレートを使用しないと受信感度が落ちることがあります。



TVアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

- このプリントアンテナは車室内専用です。
- 下記の位置には取り付けないでください。
 - ・フロントウィンドー上側の縁から10cm以上離れた位置。
 - ・車検票章などと重なる位置。
 - ・運転者の視界を妨げる位置。
 - ・エアバックや保安部品の動作の妨げとなる位置。
 - ・リアハッチなど可動するガラス面。
- 下記の場合は受信感度が低下します。
 - ・熱線反射ガラスやミラー調ガラスフィルムの貼ってある場所。
 - ・純正ラジオなどのアンテナ（パターン）に重なる場所。
 - ・ウィンドーの熱線と重なる場所。
- プリントアンテナと⑩TVアンテナ用アンプユニットの取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。プリントアンテナと両面テープは貼り直すことができません。
- 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。
- プリントアンテナを折り曲げたり、傷を付けないでください。
- 貼り付け面の温度を15℃以上にして作業を行ってください。

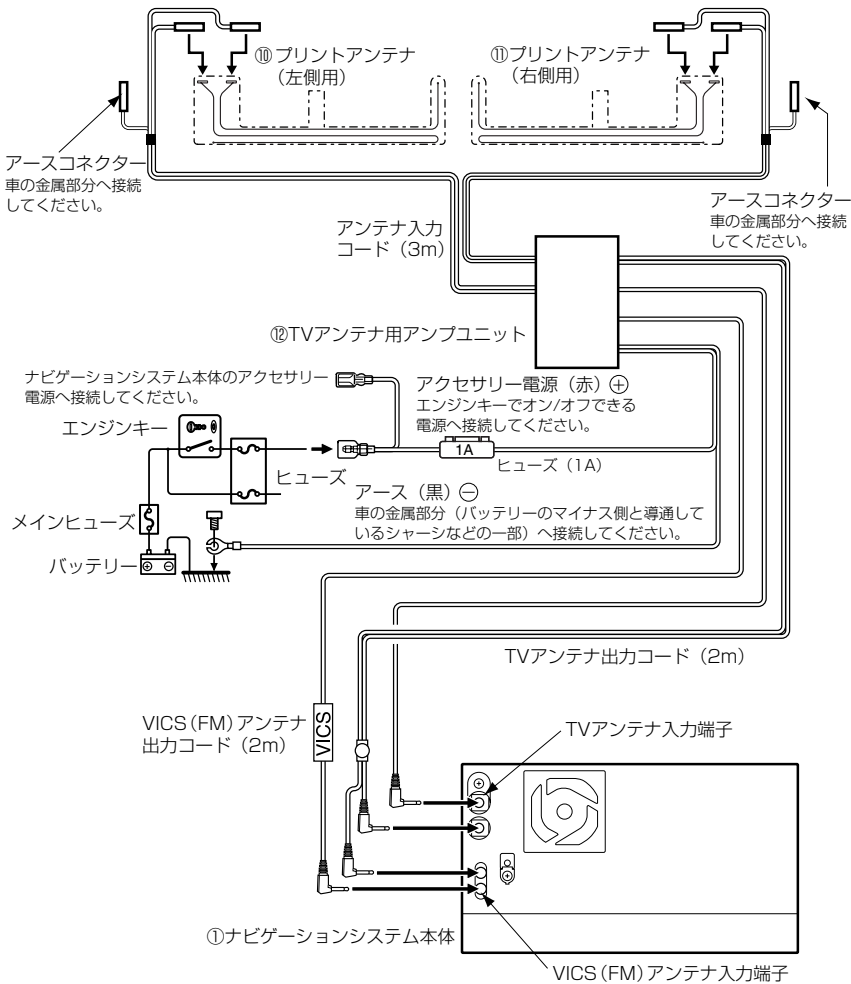
Memo

- ・車両によっては、ワイパーを動かした際に受信感度が変わる場合があります。

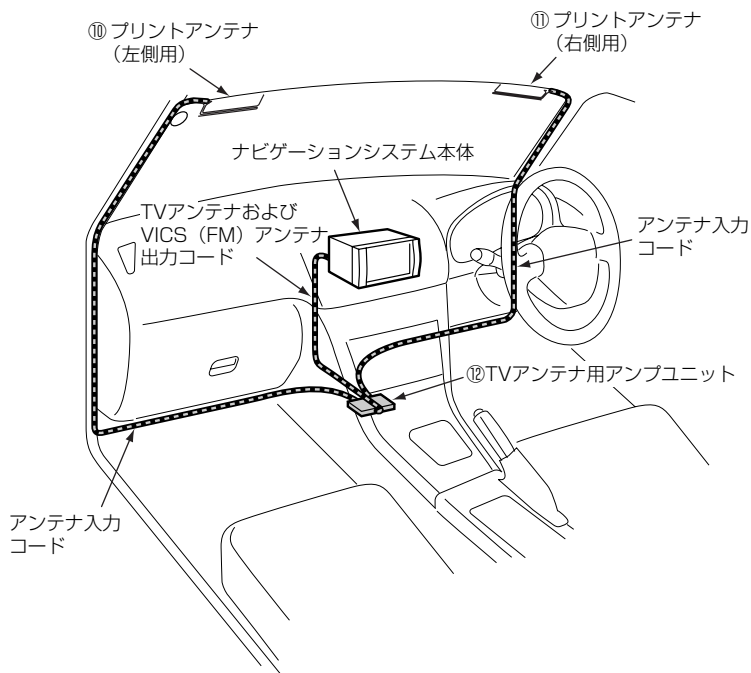
接続のしかた

! ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーのマイナス端子を外してください。

実施



取り付け例



取り付け方法

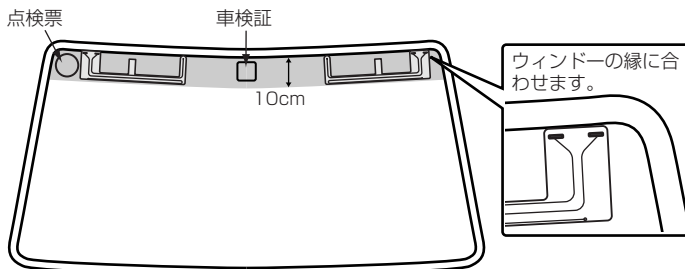
■プリントアンテナの貼り付け方法 (フロントウィンドーへの貼り付け例)

1. 取り付け位置を確認します。

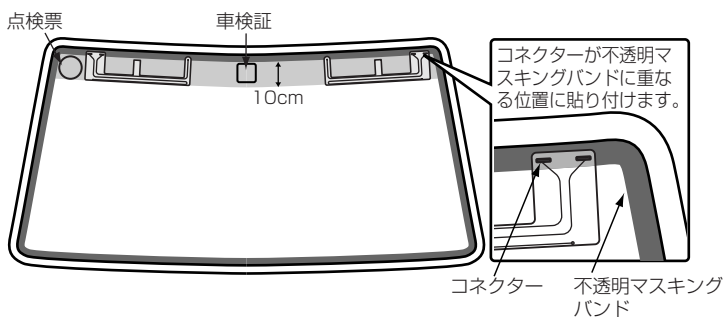
■Memo

・プリントアンテナには、接着面（半透明シート側）と非接着面、左側用と右側用がありますので注意してください。

● 不透明マスキングバンドがない場合



● 不透明マスキングバンドがある場合



注意

フロントウィンドーの貼り付け位置の注意

プリントアンテナはガラス面の縁から10cm以内に貼り付けてください。この範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検非対応となり車検申請時に不合格となる場合があります。

2. 貼り付け位置の汚れを付属の⑮クリーナーできれいに拭き取ります。

NEXT

TVアンテナの取り付け

3. プリントアンテナを貼り付けます。

- 1) ①の部分のはくり紙（半透明シート）をスリットからはがし、プリントアンテナを貼り付けます。

■ Memo

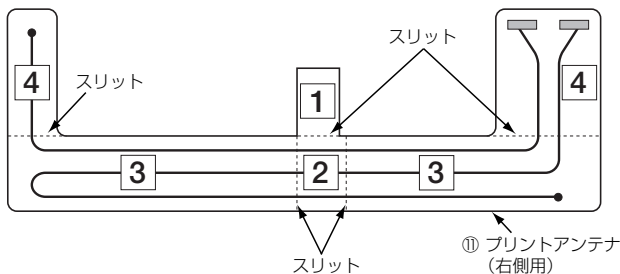
・これ以降、貼り直しができませんので、もう一度貼り付け位置を確認します。

- 2) ②の部分のはくり紙をスリットからはがし、フロントガラスに密着させます。

- 3) 同じ要領で③、④の部分を順にフロントガラスに密着させます。

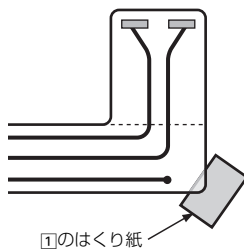
■ Memo

・左右、どちらが先でもかまいません。



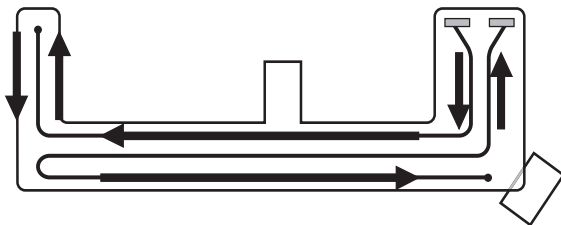
■ Memo

・図のように①のはくり紙を挟んで貼り付けるとフィルムをはがし易くなります。

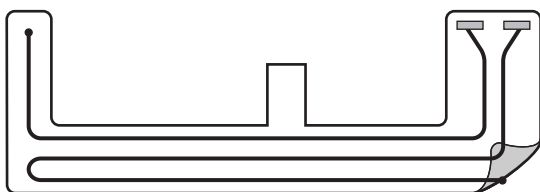


4. 透明シートの上から、ゴムベラなどでしごくようにアンテナエレメント部を圧着します。ゴムベラがない場合は板などに布を巻いて行ってください。

しごく方向と箇所



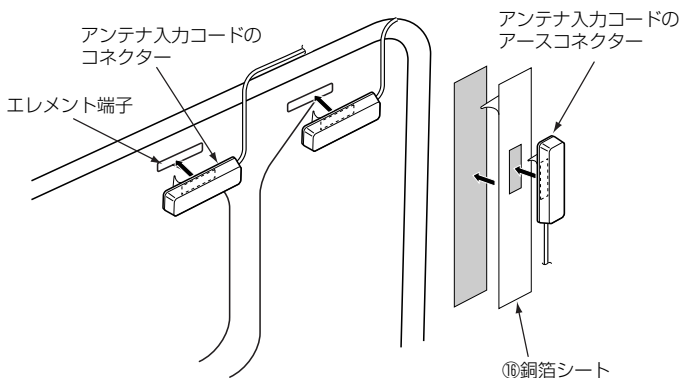
5. 透明シートをゆっくりはがします。



6. アンテナエレメントが十分に貼り付いたことを確認してから、エレメント端子にアンテナ入力コードのコンネクターを貼り付けます。銅箔シートを車両の金属部分に貼り付けてから、アンテナ入力コードのアースコンネクターを銅箔シートの上に貼り付けます。

Memo

・銅箔シートは、塗装された金属部分に貼り付けても構いません。

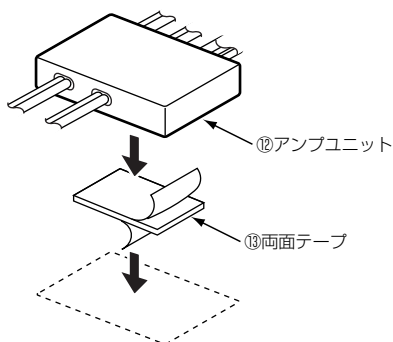


7. アンテナ入力コードを配線します。途中、数カ所⑭コードクランパーで固定します。

NEXT

■アンプユニットの取り付け方法

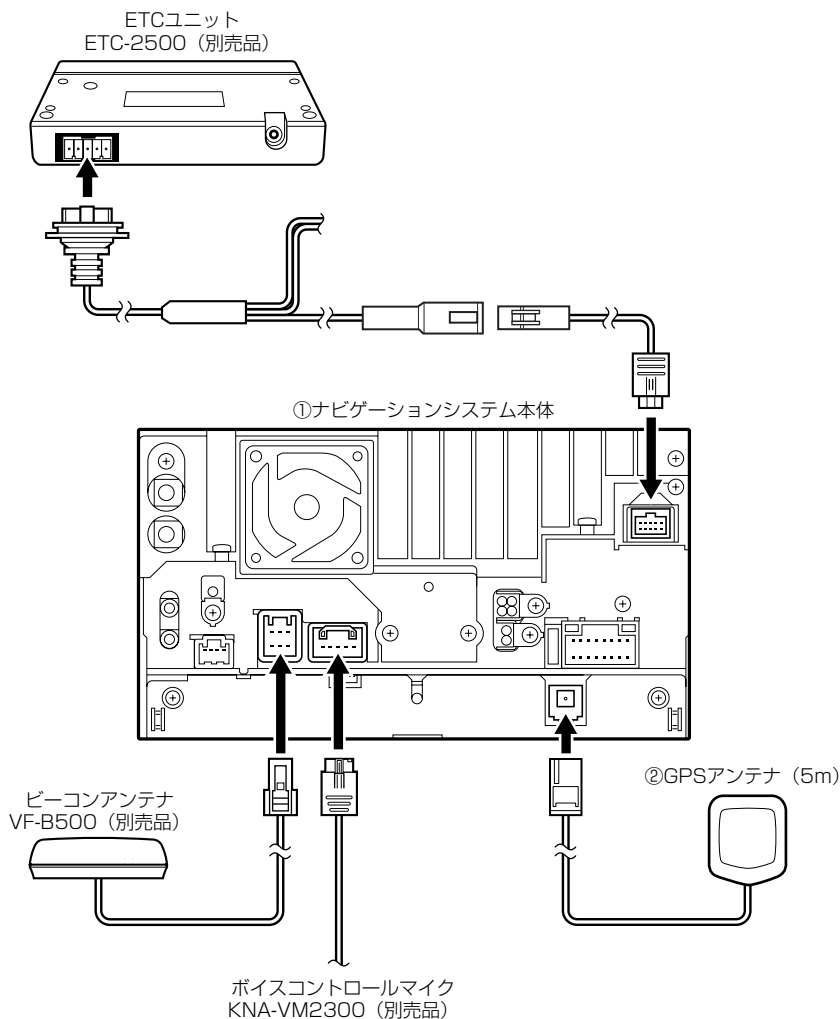
1. 取り付け位置を確認します。
貼り付け位置の汚れを付属の⑮クリーナーできれいに拭き取ります。
2. ⑫アンプユニットに⑬両面テープを貼り付けて、⑫アンプユニットを車両に貼り付けます。



3. TVアンテナ出力コードとVICS (FM) アンテナ出力コードを配線します。

周辺機器の接続

周辺機器との接続

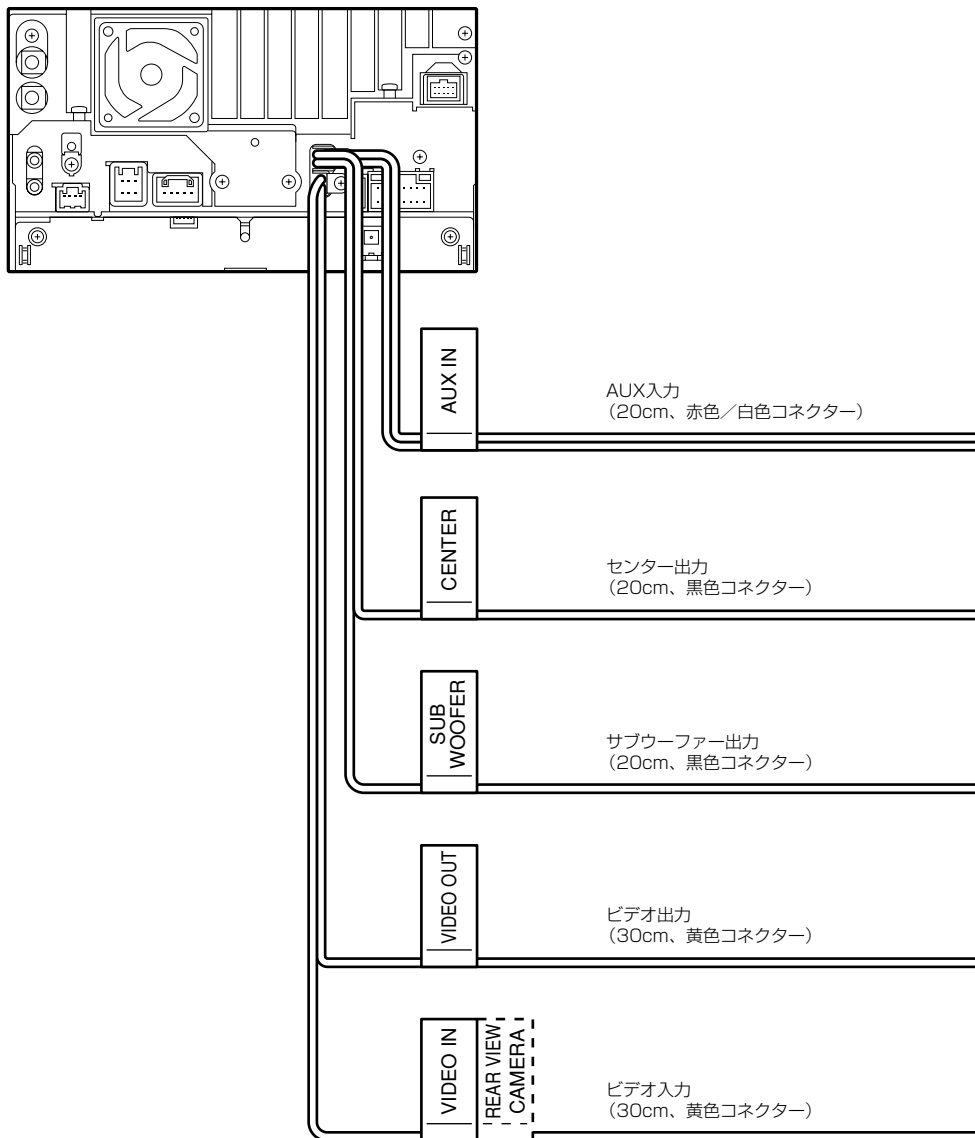


■ Memo

- ・ビーコンアンテナ (VF-B500) を接続したときは、「システムを設定する」画面 ([ナビ設定] → [システム] → [システム]) の接続確認でVICIS項目を確認してください。インジケータが水色になっていれば、正しく接続されています。

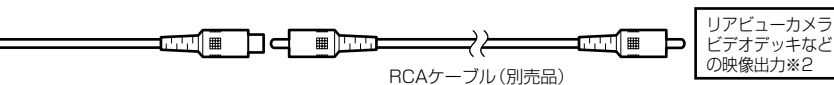
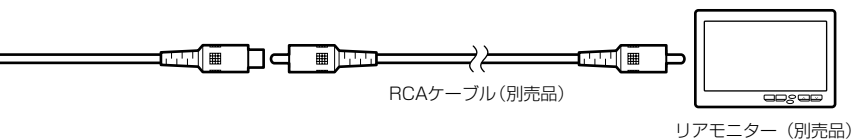
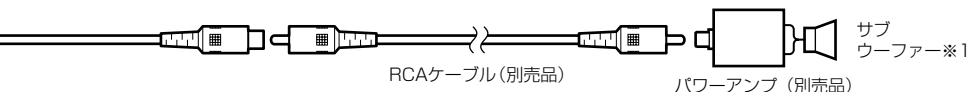
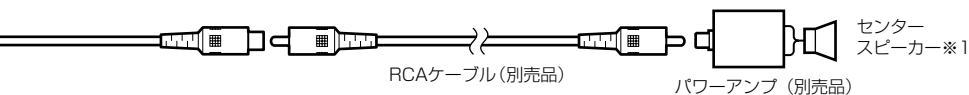
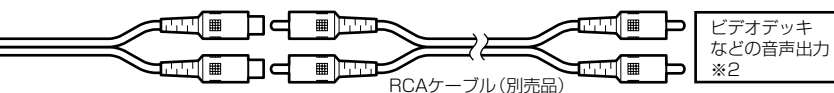
AV入出力の接続

①ナビゲーションシステム本体



Memo

- ※1 センタースピーカーまたはサブウーファーを接続しない場合は、「スピーカーを設定する」(取扱説明書 P.8-6) のサイズ指定を「NONE」に設定してください。
- ※2 リアビューカメラ、ビデオデッキなどを接続しない場合は、「その他の機能を設定する」(取扱説明書 P.8-22) の外部入力を「設定なし」に設定してください。



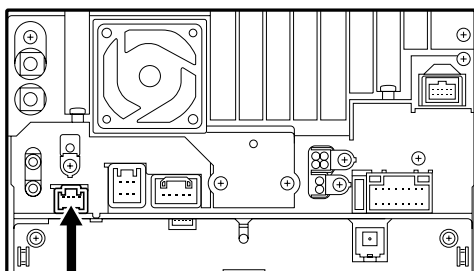
車両情報ケーブルの接続



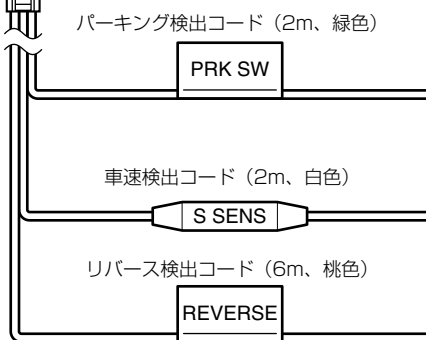
禁止

車速信号検出コードの“S SENS”と書かれたホルダー（保護ダイオード入り）は切りはすさないでください。車両故障の原因になります。

①ナビゲーションシステム本体



⑥車両情報ケーブル



付属の中継コネクタを使用し、車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

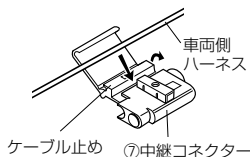
付属の中継コネクタを使用し、車両の車速信号ハーネスに接続します。接続していないと自車位置が正しく表示されません。

付属の中継コネクタを使用し、車両のリバースランプハーネスに接続します。

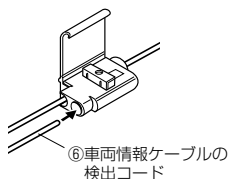
中継コネクタの使いかた

1. 車両側のハーネスを⑦中継コネクタに差し込みます。

2. ケーブル止めをロックします。

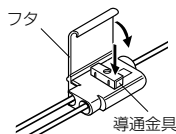


3. ⑥車両情報ケーブルの検出コードを⑦中継コネクタに差し込みます。



4. プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。

5. 最後にフタをロックします。



電源ハーネスの接続



実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認し、次にショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。

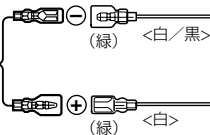


注意

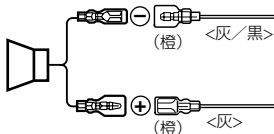
- 各端子の接続は完全にロックするまで差し込んでください。
- 使用しない電源ハーネスのプラグ、拡張端子のキャップは外さないでください。

2スピーカー時の接続方法

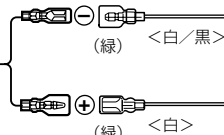
左
スピーカー



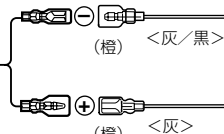
右
スピーカー



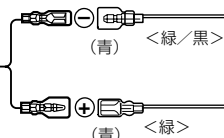
フロント左
スピーカー



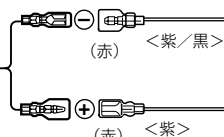
フロント右
スピーカー



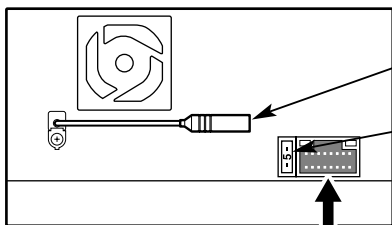
リア左
スピーカー



リア右
スピーカー



①ナビゲーションシステム本体



⑤電源ハーネス



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。
- 輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリー電源コードに接続してください。

FM/AMアンテナ入力端子

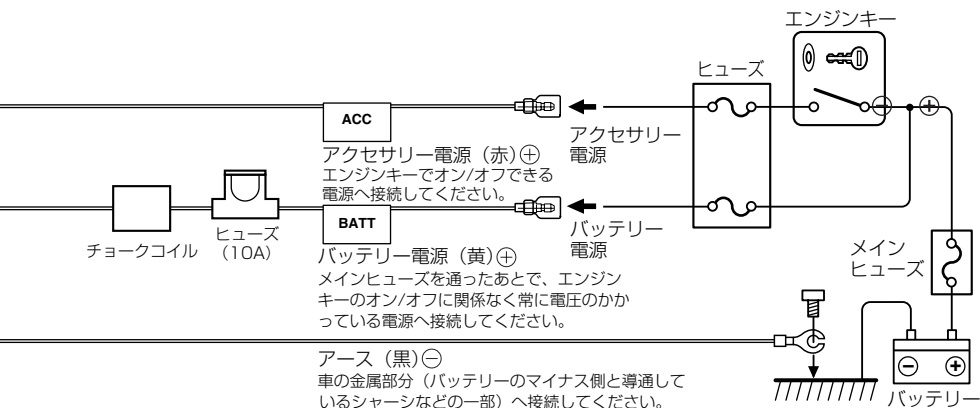
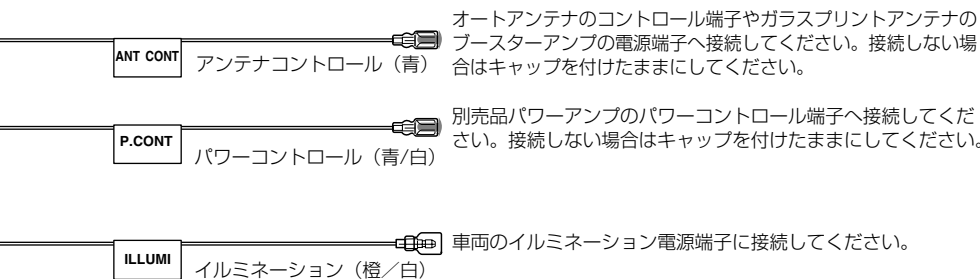
車両のFM/AMアンテナへ接続してください。

ヒューズ (5A)



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）と同じ容量の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

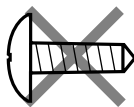
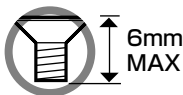


ナビゲーションシステム本体の取り付け

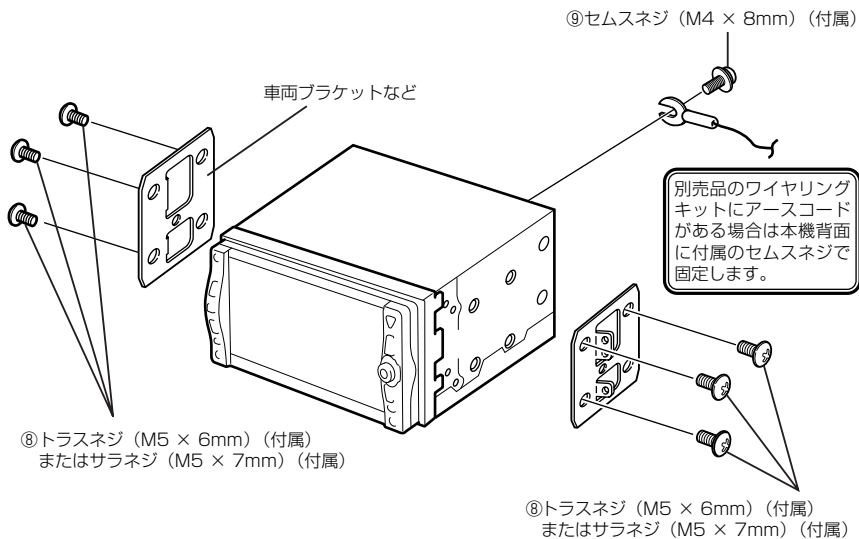
付属の⑧トラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



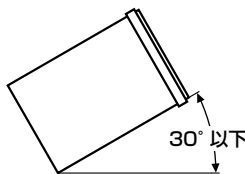
- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**
付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。
車両に合ったネジをご使用ください。



- **本機動作中に強い衝撃を与えると内部データ等が破損する恐れがあります。取付け前に動作確認などを行う際は注意してください。**
- **取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/ イジェクトを行ってください。**



- **本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。**
- **操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。**





KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2 電話(045)933-5212 FAX(045)933-5553
カスタマーサポートセンター大阪 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北2-1-22 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308
受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。